

平成25年度 当初予算

主な事業の説明書

上下水道部

款 項 目 大 事 業	ページ
[一般会計]	
4 1 7 61 浄化槽設置整備事業費補助金	7 - 1
4 3 1 11 簡易水道水質検査経費	7 - 2
4 3 1 20 共同飲用水道施設整備費補助金	7 - 3
4 3 1 60 簡易水道等施設整備費補助金	7 - 4
[簡易水道事業特別会計]	
1 1 1 10 一般管理費	7 - 5
2 1 1 23 神宮寺地区簡易水道区域拡張事業費（中央斎場関連）	7 - 6
2 1 1 29 協和中央地区簡易水道浄水施設等更新事業費	7 - 7
2 1 1 30 （新規）淀川地区簡易水道水源調査事業費	7 - 8
2 1 1 35 （新規）大沢郷地区簡易水道区域拡張事業費（江原田地区等）	7 - 9
[公共下水道事業特別会計]	
1 1 1 10 下水道維持管理費	7 - 1 0
2 1 1 10・11 公共下水道事業費（補助分・単独分）	7 - 1 1
2 1 1 12 流域下水道事業費（特環会計分含む）	7 - 1 2
[特定環境保全公共下水道事業特別会計]	
1 1 1 10 下水道維持管理費	7 - 1 3
2 1 1 10・11 特定環境保全公共下水道事業費（補助分・単独分）	7 - 1 4
[特定地域生活排水処理事業特別会計]	
1 1 1 10 浄化槽維持管理費	7 - 1 5
[農業集落排水事業特別会計]	
1 1 1 10 農業集落排水維持管理費	7 - 1 6
2 1 1 10・11 農業集落排水事業費（補助分・単独分）	7 - 1 7

※部毎に款・項・目・大 事 業の順番とする。

事業説明書

(一般会計) 4 款 1 項 7 目 61 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部 下水道課

(施策の大綱) 下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 浄化槽の整備促進

【事業名】 浄化槽設置整備事業費補助金

【説明項目】 合併処理浄化槽事業費補助金について

【25年度】 92,850 千円 【24年度】 96,450 千円 【増減額】 △ 3,600 千円

1. 事業の目的

公共下水道事業及び農業集落排水事業の区域外において、公衆衛生の向上及び良好な生活環境の確保を図り、併せて公共水域の水質保全に資するため、補助金を交付することにより、短期に着実な整備を図ることができる合併処理浄化槽の整備を促進することを目的とする。

2. 事業の目標

平成25年度末目標

- ①普及率 15.8%
- ②処理区域内人口 14,075人

3. 事業の概要

基準分	5人槽		7人槽		10人槽		合計	
	基数	金額	基数	金額	基数	金額	基数	金額
大仙市全域	80	28,160	110	48,510	5	2,940	195	79,610

※基準額の3分の1ずつ国・県・市町村が負担する。

嵩上げ分 (基準額の市 分の半分)	5人槽		7人槽		10人槽		合計	
	基数	金額	基数	金額	基数	金額	基数	金額
	80	4,720	110	8,030	5	490	195	13,240

※補助額内訳	基準額	基準額の負担内訳			嵩上額	補助額 (基準+嵩上)	予定 基数	予算計上額
		国	県	大仙市				
5人槽	352	117	117	118	59	411	80	32,880
7人槽	441	147	147	147	73	514	110	56,540
10人槽	588	196	196	196	98	686	5	3,430
※国・県・市は基準額の3分の1を負担。さらに、その2分の1を市で嵩上げ							195	92,850

4. これまでの成果と今後の方向性

集合排水処理施設整備には、多額の経費と整備着手まで相当の時間がかかるため、現在認可区域外において市民が要望するトイレの水洗化を支援することにより、短期的に市全体の水洗化率の向上が図られてきた。

今後も事業を継続することで、公共用水域の保全並びに水洗化の向上が図られる。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価

短期間で効果をあげており、市全体の水質保全のためには継続していく必要がある。H24実績見込みは約160基で例年より若干少なめとなっているが、H25年度においては年間190基程度の設置が見込まれる。

現状のまま
継続

5. 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
92,850	40,429	0	0	52,421

【国庫支出金】 1 4 款 2 項 3 目 : 浄化槽設置整備事業費補助金 17,123千円

【県支出金】 1 5 款 2 項 3 目 : 浄化槽設置整備事業費補助金 23,306千円

事業説明書

(一般会計) 4 款 3 項 1 目 11 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部水道課

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

【事業名】	簡易水道水質検査経費		
【説明項目】	簡易水道水質検査経費について		
【25年度】	6,411 千円	【24年度】	6,187 千円
		【増減額】	224 千円

1. 事業の目的
 大曲、西仙北、中仙、仙北及び太田地域における組合営等の簡易水道・小規模水道の公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。

2. 事業の目標 (数値目標)
 大曲、西仙北、中仙、仙北及び太田地域における組合営等の簡易水道・小規模水道が実施する一般細菌・大腸菌群等の水質検査経費を負担し、適正な水質管理及び経営の安定を図るための支援を行う。

3. 事業の概要

平成25年度 水質検査経費 (千円)

地域名	簡易水道	小規模水道	予算額
	箇所数	箇所数	
大曲	13	12	196
西仙北	1	1	270
中仙	1	9	2,092
仙北	18	2	2,094
太田	4	1	1,759
計	37	25	6,411

4. これまでの成果と今後の方向性
 各組合の水質管理において経費を支援することで、経営の安定化が図られ安全で安心な飲料水の供給事業の継続に繋がる。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 今後の対象組合数や実施する水質検査項目及び検査回数により経費の増減が見込まれる。	総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
--	--------------------------------------

5. 財源内訳 (単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
6,411				6,411

【国県支出金】
 【市債】

事業説明書

(一般会計) 4 款 3 項 1 目 20 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部水道課

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

【事業名】 共同飲用水道施設整備費補助金 【説明項目】 共同飲用水道施設整備費補助金について				
【25年度】 3,700 千円 【24年度】 1,700 千円 【増減額】 2,000 千円				
1. 事業の目的 公営水道及び非公営水道の給水区域外における給水人口30人未満の2戸以上で構成される共同飲用水道施設の新設・改良工事に市単独の補助を行い、地域住民の生活環境の改善と公衆衛生の向上を図る。				
2. 事業の目標 (数値目標) 地域住民のニーズと事業内容を的確に把握し、大仙市共同飲用水道施設整備費補助金交付要綱に基づき円滑な事業運営を図る。				
3. 事業の概要 <p>平成25年4月に予定されている共同飲用水道施設新設工事1件の補助金交付申請のほか、共同飲用水道施設新設工事2件の補助金交付申請に対応可能な予算額とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度交付実績 改良工事 1件 ・平成24年度交付実績 新設工事 1件 <p>共同飲用水道施設整備費補助金の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象 <ul style="list-style-type: none"> ・公営水道及び非公営水道の給水区域外の水道とする。 ・給水人口30人未満で、2戸以上で構成されている水道とする。 ・滅菌器設置を義務付け。 ・取水、導水、浄水、送水及び配水施設の工事に要する経費。 ※ポーリング経費については、1回分とする。 ・補助金の額 <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象の工事費を20万円以上とし、次に示す補助割合とする。 ・新設の場合・・・200万円を限度とし補助対象経費の2分の1以内 ・改良の場合・・・100万円を限度とし補助対象経費の3分の1以内 				
4. これまでの成果と今後の方向性 現在の給水区域外にある少人数水道に対し、市単独の助成をすることにより、安全で安心な飲料水を確保できる。 また、水道施設及び設備の状況を把握し、計画的な予算計上を行うことに努める。				
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 少人数水道への助成を継続し、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
3,700	269			3,431
【国県支出金】 15款3項3目: 衛生費委託金		269 千円		
【市債】				

事業説明書

(一般会計) 4款 3項 1目 60事業

課所名 上下水道部水道課

新規 ・ 継続

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

【事業名】 簡易水道等施設整備費補助金 【説明項目】 簡易水道等施設整備費補助金について				
【25年度】 1,500千円		【24年度】 1,000千円		【増減額】 500千円
1. 事業の目的 非公営の簡易水道組合及び小規模水道組合が実施する新設・改良工事に市単独の補助を行い、地域住民の生活環境の改善と公衆衛生の向上を図る。				
2. 事業の目標 (数値目標) 地域住民のニーズと事業内容を的確に把握し、大仙市簡易水道等施設整備費補助金交付要綱に基づき円滑な事業運営を図る。				
3. 事業の概要 非公営の簡易水道組合及び小規模水道組合からの補助金交付申請に迅速な対応が可能な予算額とした。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度交付実績 改良工事 6件 ・平成24年度交付実績 改良工事 7件 簡易水道等施設整備費補助金の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象 <ul style="list-style-type: none"> ・公営水道の配水管が布設されていない地域の非公営の簡易水道組合及び小規模水道組合とする。 ・取水、導水、浄水、送水及び配水施設の工事に要する経費。 ・補助金の額 <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象の工事費を30万円以上とし、次に示す補助割合とする。 ・新設の場合・・・200万円を限度とし補助対象経費の2分の1以内 ・改良の場合・・・100万円を限度とし補助対象経費の3分の1以内 				
4. これまでの成果と今後の方向性 非公営の簡易水道組合等に、市単独の助成をすることにより、安全で安心な飲料水を確保できる。また、水道施設及び設備の状況を把握し、計画的な予算計上を行うことに努める。				
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 非公営の簡易水道組合等への助成を継続し、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
1,500				1,500
【国県支出金】 【市債】				

事業説明書

(簡易水道事業特別会計) 1 款 1 項 1 目 10 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部水道課

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

【事業名】	一般管理費				
【説明項目】	簡易水道事業に係る一般管理費について				
【25年度】	178,684 千円	【24年度】	159,116 千円	【増減額】	19,568 千円

1. 事業の目的
 大仙市の公営簡易水道 2 地区の事業運営において、円滑な水道施設の維持管理に努め、安全で安心な水道水の安定的な供給を図る。

公営簡易水道 神岡地域 3 地区、西仙北地域 7 地区、中仙地域 3 地区、協和地域 7 地区
 南外地域 1 地区、仙北地域 1 地区 計 2 2 地区

2. 事業の目標 (数値目標)
 適正かつ効率的な施設の維持管理に努め、水道事業の円滑な運営を図る。

3. 事業の概要

公営簡易水道22地区の事業運営における水道施設設備等の維持管理経費である。

(千円)

地域	給水人口	簡易水道数	予算額	【主な項目】
神岡	4,230 人	3	14,946	<ul style="list-style-type: none"> ○ 需用費 (電気料、修繕料、水道施設薬品等の消耗品費) ○ 役務費 (電話料、水質検査手数料) ○ 委託料 (施設維持管理業務等) ○ 工事請負費 (強首地区簡易水道急速ろ過機ろ材交換、協和南部地区簡易水道送水流量計設置工事) ○ 備品購入費 (水道メーター) ○ 公課費 (消費税及び地方消費税の納付)
西仙北	8,131 人	7	36,386	
中仙	1,825 人	3	7,844	
協和	7,514 人	7	35,910	
南外	3,448 人	1	18,685	
仙北	668 人	1	2,890	
水道課	-	-	62,023	
計	25,816 人	22	178,684	

4. これまでの成果と今後の方向性
 安全で安心な水道水の安定的な供給を継続することで、使用者からの信頼を得るとともに、更なる加入促進を図る。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 水道施設および設備の老朽化による費用は発生するが、適正な水道事業の運営を図りつつ経費の節減に努めることで経営基盤の強化に繋げる。	総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
--	--------------------------------------

5. 財源内訳 (単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
178,684			178,684	0

【国県支出金】

【その他】

2款1項1目: 水道使用料等	177,287 千円
2款2項1目: 給水装置工事検査及び設計審査などの手数料	625 千円
7款1項1目: 下水道料金徴収事務委託料などの雑入	772 千円

事業説明書

(簡易水道事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 23 事業

新規 ・ 継続

課所名 神岡支所 農林建設課

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

【事業名】	神宮寺地区簡易水道区域拡張事業費 (中央斎場関連)				
【説明項目】	神宮寺地区簡易水道区域拡張事業費 (中央斎場関連) について				
【25年度】	47,070 千円	【24年度】	1,247 千円	【増減額】	45,823 千円

1. 事業の目的

大曲仙北広域市町村圏組合が、新火葬場を建設 (大仙市土川字小杉山沢ノ内乱場内) するにあたり、公営水道が整備されていないため、近隣の神宮寺地区簡易水道の給水区域を拡張し、水道水の供給を図る。

2. 事業の目標 (数値目標)

平成26年度に実施する新火葬場建設工事に伴い、平成25年度内で神宮寺地区簡易水道に係る配水管布設工事の完了を目標とする。

3. 事業の概要

- 平成25年4月 実施設計業務委託
- 平成25年8月 配水管布設工事の実施 ※平成25年11月の完成予定
- 配水管布設工 L=1,440.0m
- 〔 水道配水用ポリエチレン管 φ 150mm L= 840.0m 〕
- 〔 水道配水用ポリエチレン管 φ 75mm L= 600.0m 〕

施工場所：大仙市神宮寺字関口地内(神岡地域)
 大仙市土川字小杉山沢ノ内乱場内(西仙北地域)
 大仙市四ツ屋字上木ノ淵地内(大曲地域)
 大仙市松倉字大川原・塞ノ神・布晒地内(大曲地域)

本工事は、神宮寺地区簡易水道の配水管から口径150mmで分岐し、県道四ッ屋神岡線 (配水管口径φ150mm) 及び市道のスーパー農道 (配水管口径φ75mm) を経由して、新火葬場まで配水管を布設するものです。

4. これまでの成果と今後の方向性

大曲仙北広域市町村圏組合と連携し、新火葬場建設計画に基づいた事業の実施に努める。
 また、配水管布設工事について、「実施計画」に登載されている神宮寺地区簡易水道区域拡張事業(大曲玉川右岸地域の水道未普及解消事業)を考慮し施工する。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

事業の実施にあたり、配水管布設に係る管路選定及び工法等の検討によるコストの縮減を図る。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
47,070		47,000	0	70

【国県支出金】

【市 債】 9款1項1目: 簡易水道整備事業債

47,000 千円

事業説明書

(簡易水道事業特別会計) 2款 1項 1目 29事業

新規 ・ 継続

課所名 協和支所 農林建設課

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

【事業名】	協和中央地区簡易水道浄水施設等更新事業費				
【説明項目】	協和中央地区簡易水道浄水施設等更新事業費について				
【25年度】	24,384千円	【24年度】	5,816千円	【増減額】	18,568千円

1. 事業の目的
 協和中央地区簡易水道宮ヶ沢浄水場は、沢水を取水堤で堰き止め水源とし、緩速ろ過方式で浄水処理を行っているが、水源水量の減少が見受けられることや、水源水質の悪化（大腸菌の検出）、浄水施設の老朽化に伴い浄水濁度0.1度以下に維持できない状況にある。
 このことから、クリプトスポリジウム対策として水源を沢水から地下水に変更し、緩速ろ過方式から膜ろ過方式に変更することで、浄水濁度0.1度以下の維持を可能にし、安全で良質な浄水の安定供給を図る。

2. 事業の目標（数値目標）
 宮ヶ沢浄水場の水源を新設し、ろ過設備等を更新することで安全で安心な飲料水を確保する。

3. 事業の概要

- 平成25年4月 地質調査業務委託（機械ボーリング：2孔 計14m・標準貫入試験：14回）
- 平成25年5月 実施設計業務委託
- 平成25年5月 測量業務委託（現地測量・路線測量）

実施場所：大仙市協和上淀川字大橋向地内

■事業期間

	H25	H26	H27	H28	単位：千円 計
事業費	24,384	121,560	144,000	146,340	436,284
増補改良事業	24,384	121,560	136,800	64,140	346,884
基幹改良事業	0	0	7,200	82,200	89,400

4. これまでの成果と今後の方向性
 平成23年度に電気探査より有望な2箇所の水源地を特定し、平成24年度で詳細調査を行なっている。
 また、事業に伴う経営認可変更設計業務を実施したことから、平成25年度から平成28年度の工期で水道施設整備事業を円滑に推進する。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 水道水の衛生的な水質の保全と安定供給を図るため円滑に事業を推進する必要がある。	総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
---	--

5. 財源内訳 (単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
24,384	5,946	18,400		38

【国県支出金】 3款1項1目：簡易水道等施設整備費補助金 5,946千円
 【市債】 9款1項1目：簡易水道整備事業債 18,400千円

事業説明書

(簡易水道事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 30 事業

新規・継続

課所名 協和支所 農林建設課

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

【事業名】 淀川地区簡易水道水源調査事業費

【説明項目】 淀川地区簡易水道水源調査事業費について

【25年度】 9,281 千円 【24年度】 0 千円 【増減額】 9,281 千円

1. 事業の目的

淀川地区簡易水道の水源は、県の環境保全センター（最終処分場）の下流域にあるため、当初から水質についての懸念が、一部住民から寄せられていた。

平成24年11月に県が被災地の不燃がれきを環境保全センターへ受け入れるとの表明をしたことにより、一部住民からの水質に関する不安の声がさらに広がっている現状である。

このことから、将来の水源移設を考慮して、環境保全センターの影響を受けない箇所の新水源調査を行うものです。

2. 事業の目標（数値目標）

平成25年6月に電気探査業務委託を実施し、その後8月から水源調査業務委託を実施する。

計画給水人口:1,760人 現在給水人口:1,009人

3. 事業の概要

■平成25年6月 電気探査業務委託(2点 深度50m)

実施場所:大仙市協和上淀川字五百刈田地内

大仙市協和上淀川字川又地内

■平成25年8月 水源調査業務委託(調査井戸:2孔 24m・揚水試験:2回・水質分析:2式)

4. これまでの成果と今後の方向性

新たな水源の調査を実施することにより、がれき処理に関する状況の変化にスムーズに対応することができる。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

新水源調査を実施し、地域住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善に備える。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 補正額の財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
9,281			9,281	

【国県支出金】

【その他】 4款1項1目:一般会計繰入金(環境保全基金)

9,281 千円

事 業 説 明 書

(簡易水道事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 35 事業

新規 ・ 継続

課所名 西仙北支所 農林建設課

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

【事業名】 大沢郷地区簡易水道区域拡張事業費 (江原田地区等)

【説明項目】 大沢郷地区簡易水道区域拡張事業費 (江原田地区等) について

【25年度】 1,890 千円 【24年度】 0 千円 【増減額】 1,890 千円

1. 事業の目的

施設の老朽化が著しく、夏期及び冬期の渇水時における水量不足により、給水能力の低下が懸念される江原田小規模水道組合と木売沢・金山沢簡易水道組合を廃止し、隣接する公営の大沢郷地区簡易水道より配水管を延長して水道水を供給する。
また、清浄にして豊富な水を安定供給することで地域住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。

2. 事業の目標 (数値目標)

平成25年5月に経営認可変更設計業務を発注する。
平成26年5月に設計業務委託を発注後、9月より配水管等布設工事に着手し、平成27年2月に完成予定である。
平成27年3月より水道水の供用を開始し、受益者に対し豊富で安定した良質水を供給する。
江原田小規模水道組合 給水対象戸数：21戸 給水人口：74名
木売沢・金山沢簡易水道組合 給水対象戸数：31戸 給水人口：116名

3. 事業の概要

江原田小規模、木売沢・金山沢簡易水道組合統合に係る事業計画

■平成25年度

平成25年5月 経営認可変更設計業務委託

■平成26年度

平成26年5月 実施設計業務委託

平成26年9月 配水管布設工事の実施 ※平成27年2月の完成予定

4. これまでの成果と今後の方向性

夏期及び冬期の渇水時における給水制限等がなくなり、水道水の安定供給が可能となる。
事業完了後は、適正かつ効率的な水道施設の維持管理に努める。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

事業の実施にあたり、配水管布設に係る管路選定及び工法等の検討によるコストの縮減を図る。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
1,890				1,890

【国県支出金】

【市 債】

事業説明書

(公共下水道事業特別会計)

1 款 1 項 1 目 10 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部 下水道課

(施策の大綱) 下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

【事業名】 下水道維持管理費

【説明項目】 下水道維持管理費について

【25年度】 277,456 千円 【24年度】 268,900 千円 【増減額】 8,556 千円

1. 事業の目的

管渠、処理場等について、定期的な保守点検等の維持管理の実施により、施設機能を保全し、安定的で継続的な事業運営を図る。

2. 事業の目標

限られた予算の中でコスト削減に努め、支障なく施設を稼働するための維持管理を行う。

対象区域：大曲・神岡・西仙北

3. 事業の概要

下水道課	257,219 千円
神岡支所	4,081 千円
西仙北支所	16,156 千円

主な支出	流域下水道維持管理負担金（大曲、神岡）	184,800 千円
	炭化施設維持管理負担金（大曲、神岡）	43,065 千円
	水質検査手数料（大曲、神岡）	2,201 千円
	ポンプ・処理施設維持管理委託料（西仙北）	5,872 千円
	処理場修繕料（西仙北）	1,744 千円

4. これまでの成果と今後の方向性

適正な維持管理により、地域の公衆衛生の向上と生活環境の改善が図られている。今後とも、コスト削減及び施設の機能保全に努め、健全な事業運営の継続を図らなければならない。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価

大きな事故もなく、支障のない施設稼働が確保された。25年度以降も突発的な大修繕に至らぬ様、適切な日常点検に努めることが求められる。

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
277,456	0	0	277,456	0

【その他】 2款1項1目：下水道使用料 276,377千円

【その他】 2款2項1目：下水道手数料 975千円

【その他】 6款 : 諸収入 104千円

事 業 説 明 書

(公共下水道事業特別会計)

2 款 1 項 1 目 10.11 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部 下水道課

(施策の大綱) 下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

【事業名】 公共下水道事業費 (補助分・単独分)				
【説明項目】 公共下水道事業費 (補助分・単独分) について				
【25年度】	373,584 千円	【24年度】	357,797 千円	【増減額】 15,787 千円
(うち補助分)	294,500 千円		280,000 千円	14,500 千円
(うち単独分)	79,084 千円		77,797 千円	1,287 千円

1. 事業の目的

市民の公衆衛生及び生活環境の向上と公共水域の水質の保全に資するため、下水道整備を継続的に進め、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。

2. 事業の目標

平成25年度末目標

公共下水道 (公共下水道・特定環境保全公共下水道)

①普及率 39.3%、②処理区域内人口 35,065人

3. 事業の概要

(単位：千円)

区 分	事業費		事業概要
	(補助分)	(単独分)	
大曲地域	269,065		管路工事 L = 1065.4m (大花町、幸町、飯田字家の前、戸巻町等) 管渠実施設計 (大花町、幸町、富士見町) L = 4,100m 地形測量業務委託 (大花町、幸町、富士見町) 21h a 生活排水処理整備構想見直し 公共樹設置工事
	213,000		
	56,065		
神岡地域	97,885		管路工事 L = 1,570m (北檜岡、大浦地内)
	76,000		
	21,885		
西仙北地域	6,634		長寿命化計画基礎調査業務委託 (刈和野浄化センター) 公共樹設置工事 2箇所
	5,500		
	1,134		
合 計	373,584		
	294,500		
	79,084		

4. これまでの成果と今後の方向性

下水道整備計画に基づき処理区域は拡大してきており、事業目的の達成のための着実な進捗が図られている。今後とも整備を推進すると共に、併せて財政負担及び社会情勢の変化などから、実情に即した事業認可区域の見直しが必要である。また整備済施設等の老朽化に対応するため、「長寿命化対策」に係る計画を策定し、限られた財源の中で、ライフサイクルコストの最小化を図り、計画的な改築更新を行う必要がある。

<p>《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</p> <p>大曲及び神岡地域とも、単年度の計画事業は概ね予定どおり順調に実施されている。24年度末普及率は38.7%となる見込みで、地域の下水道整備率の向上が図られている。今後とも進捗を図るために適切な予算措置をすると共に、25年度以降は事業認可区域の見直し及び整備済施設の「長寿命化計画」策定に向けて取り組むこととする。</p>	<p>総合評価</p> <p>改善しながら継続</p>
--	-----------------------------

5. 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
(事業費) 373,584	147,250	193,300	22,012	11,022
(補助分) 294,500	147,250	130,000	14,500	2,750
(単独分) 79,084	0	63,300	7,512	8,272

【国県支出金】 3款1項1目：社会資本整備総合交付金

【市債】 7款1項1目：下水道事業債

【その他】 1款1項1目：下水道受益者負担金

事 業 説 明 書

(公共下水道事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 12 事業
 (特定環境保全公共下水道事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 12 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部 下水道課

(施策の大綱) 下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

【事業名】	流域下水道事業費			
【説明項目】	流域下水道事業費について			
【25年度】	24,833 千円	【24年度】	42,951 千円	【増減額】 △ 18,118 千円
(うち公共分)	19,633 千円		34,357 千円	△ 14,724 千円
(うち特環分)	5,200 千円		8,594 千円	△ 3,394 千円

1. 事業の目的

広域的な汚水処理のため県が実施している流域下水道事業における幹線管渠及び処理場等の整備に参画し、市の下水道事業と一体化して快適な生活の向上を図る。

2. 事業の目標

平成25年度末目標
 公共下水道（公共下水道・特定環境保全公共下水道）
 ①普及率 39.3%、②処理区域内人口 35,065人

3. 事業の概要

秋田湾・雄物川流域下水道大曲処理区の建設費負担金（県と市町村が各 1 / 2 負担）

平成25年度 予定事業内容

《管渠》

- ・大曲幹線2条管渠工事
- ・大曲ポンプ場（耐震化対策）
- ・大曲ポンプ場（設備更新詳細設計）長寿命化

《大曲処理センター》

- ・1系水処理設備（機械・電気）更新
- ・管理棟耐震化対策
- ・水処理、汚泥処理施設耐震詳細設計
- ・水処理設備更新詳細設計（長寿命化）

負担金		(単位：千円)
公共	大曲地域	17,233
	神岡地域	2,400
特環	中仙地域	3,300
	仙北地域	1,900
合計		24,833

4. これまでの成果と今後の方向性

市の下水道事業と県の流域下水道事業を一体的に推進することにより、公衆衛生及び快適な生活環境の向上と河川などの公共用水域の水質保全が図られている。
 今後とも、県と市双方が、適切な予算措置のもとで効率的な事業実施に努める。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価

県が実施している事業への建設費負担により、公共下水道整備の推進を図る。

義務的経費

5. 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
(事業費) 24,833	0	24,800	0	33
(公共分) 19,633	0	19,600	0	33
(特環分) 5,200	0	5,200	0	0

【市債】 7款1項1目：下水道事業債

事業説明書

(特定環境保全公共下水道事業特別会計)

1 款 1 項 1 目 10 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部 下水道課

(施策の大綱) 下水道等の整備

(施策)生活排水処理対策の推進

(基本事業)公共下水道事業の推進

【事業名】 下水道維持管理費											
【説明項目】 下水道維持管理費について											
【25年度】 141,097 千円	【24年度】 140,720 千円 【増減額】 377 千円										
1. 事業の目的											
<p>管渠、処理場等について、定期的な保守点検等の維持管理の実施により、施設機能を保全し、安定的で継続的な事業運営を図る。</p>											
2. 事業の目標											
<p>限られた予算の中でコスト削減に努め、支障なく施設を稼働するための維持管理を行う。</p> <p>対象区域：西仙北・中仙・協和・南外・仙北</p>											
3. 事業の概要											
下水道課	91,803 千円										
西仙北支所	5,656 千円										
中仙支所	5,969 千円										
協和支所	24,614 千円										
南外支所	8,188 千円										
仙北支所	4,867 千円										
主な支出	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">流域下水道維持管理負担金（中仙、仙北）</td> <td style="text-align: right;">66,000 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">炭化施設維持管理負担金（中仙、仙北）</td> <td style="text-align: right;">15,000 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">水質検査手数料（中仙、仙北）</td> <td style="text-align: right;">2,457 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">処理場保守管理委託料（西仙北・協和・南外）</td> <td style="text-align: right;">15,318 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中継ポンプ通報装置等修繕工事（協和）</td> <td style="text-align: right;">1,600 千円</td> </tr> </table>	流域下水道維持管理負担金（中仙、仙北）	66,000 千円	炭化施設維持管理負担金（中仙、仙北）	15,000 千円	水質検査手数料（中仙、仙北）	2,457 千円	処理場保守管理委託料（西仙北・協和・南外）	15,318 千円	中継ポンプ通報装置等修繕工事（協和）	1,600 千円
流域下水道維持管理負担金（中仙、仙北）	66,000 千円										
炭化施設維持管理負担金（中仙、仙北）	15,000 千円										
水質検査手数料（中仙、仙北）	2,457 千円										
処理場保守管理委託料（西仙北・協和・南外）	15,318 千円										
中継ポンプ通報装置等修繕工事（協和）	1,600 千円										
4. これまでの成果と今後の方向性											
<p>適正な維持管理により、地域の公衆衛生の向上と生活環境の改善が図られている。今後とも、コスト削減及び施設の機能保全に努め、健全な事業運営の継続を図らなければならない。</p>											
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》	総合評価										
<p>大きな事故もなく、支障のない施設稼働が確保された。25年度以降も突発的な大修繕に至らぬ様、適切な日常点検に努めることが求められる。</p>	改善しながら継続										
5. 財源内訳											
(単位：千円)											
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源							
141,097	0	0	104,710	36,387							
【その他】	2款1項1目：下水道使用料	104,618 千円									
【その他】	2款2項1目：下水道手数料	67 千円									
【その他】	6款	：諸収入	25 千円								

事業説明書

(特定環境保全公共下水道事業特別会計)

2 款 1 項 1 目 10.11 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部 下水道課

(施策の大綱) 下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

【事業名】	特定環境保全公共下水道事業費 (補助分・単独分)		
【説明項目】	特定環境保全公共下水道事業費 (補助分・単独分) について		
【25年度】	122,356 千円	【24年度】	135,022 千円
		【増減額】	△ 12,666 千円
(うち補助分)	92,200 千円		△ 13,300 千円
(うち単独分)	30,156 千円		634 千円

1. 事業の目的

市民の公衆衛生及び生活環境の向上と公共水域の水質の保全に資するため、下水道整備を継続的に進め、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。

2. 事業の目標

平成25年度末目標

公共下水道 (公共下水道・特定環境保全公共下水道)

①普及率 39.3%、②処理区域内人口 35,065人

3. 事業の概要

(単位: 千円)

区分	事業費		事業概要
	(補助分)	(単独分)	
中仙地域	37,226		管路工事 L=426.9m (豊川地内)
	28,000		
	9,226		
南外地域	69,292		管路工事 L=802.3m (小出・梨木田・下袋地内) 中継ポンプ 1 箇所 (下袋地内) 実施設計・地下水調査業務委託
	50,000		
	19,292		
仙北地域	1,638		公共柵設置工事 3箇所 (戸地谷地内)
	1,638		
西仙北地域	4,200		長寿命化計画基礎調査業務委託 (強首浄化センター)
	4,200		
	0		
協和地域	10,000		長寿命化計画計画策定業務委託 (協和中央浄化センター)
	10,000		
	0		
合計	122,356		
	92,200		
	30,156		

4. これまでの成果と今後の方向性

下水道整備計画に基づき処理区域は拡大してきており、事業目的の達成のための着実な進捗が図られている。今後とも整備を推進すると共に、併せて財政負担及び社会情勢の変化などから、実情に即した事業認可区域の見直しが必要である。また整備済施設等の老朽化に対応するため、「長寿命化対策」に係る計画を策定し、限られた財源の中で、ライフサイクルコストの最小化を図り、計画的な改築更新を行う必要がある。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価

中仙及び南外地域とも、単年度の計画事業は概ね予定どおり実施され、24年度末普及率は38.7%となる見込みで、地域の下水道整備率の向上が図られている。今後とも進捗を図るために適切な予算措置をすると共に、25年度以降は事業認可区域の見直し及び整備済施設の「長寿命化計画」策定に向けて取り組むこととする。

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位: 千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
(事業費) 122,356	46,100	62,300	6,598	7,358
(補助分) 92,200	46,100	35,100	3,900	7,100
(単独分) 30,156	0	27,200	2,698	258

【国県支出金】 3款1項1目: 社会資本整備総合交付金

【市債】 7款1項1目: 下水道事業債

【その他】 1款1項1目: 下水道受益者分担金

事業説明書

(特定地域生活排水処理事業特別会計) 1 款 1 項 1 目 10 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部 下水道課

(施策の大綱) 下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 浄化槽の整備促進

【事業名】 浄化槽維持管理費													
【説明項目】 浄化槽維持管理費について													
【25年度】	15,437 千円	【24年度】	15,870 千円	【増減額】 △ 433 千円									
1. 事業の目的													
市町村設置の浄化槽について、定期的な保守点検等の維持管理の実施により、浄化槽機能を保全し、安定的で継続的な事業運営を図る。													
2. 事業の目標													
限られた予算の中でコスト削減に努め、支障なく施設を稼働するための維持管理を行う。													
対象区域：西仙北・協和													
3. 事業の概要													
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">西仙北支所</td> <td style="width: 40%;">10,075 千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>協和支所</td> <td>4,887 千円</td> <td></td> </tr> </table>					西仙北支所	10,075 千円		協和支所	4,887 千円				
西仙北支所	10,075 千円												
協和支所	4,887 千円												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">主な支出</td> <td style="width: 45%;">浄化槽保守点検業務委託料</td> <td style="width: 40%;">3,234 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浄化槽清掃汲取業務委託料</td> <td>8,957 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浄化槽法定検査手数料</td> <td>1,986 千円</td> </tr> </table>					主な支出	浄化槽保守点検業務委託料	3,234 千円		浄化槽清掃汲取業務委託料	8,957 千円		浄化槽法定検査手数料	1,986 千円
主な支出	浄化槽保守点検業務委託料	3,234 千円											
	浄化槽清掃汲取業務委託料	8,957 千円											
	浄化槽法定検査手数料	1,986 千円											
4. これまでの成果と今後の方向性													
適正な維持管理により、地域の公衆衛生の向上と生活環境の改善が図られている。今後とも、コスト削減及び施設の機能保全に努め、健全な事業運営の継続を図らなければならない。													
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価									
大きな事故もなく、支障のない施設稼働が確保された。25年度以降も突発的な大修繕に至らぬ様、適切な日常点検に努めることが求められる。				改善しながら継続									
5. 財源内訳													
(単位：千円)													
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源									
15,437	0	0	15,437	0									
【その他】	1款1項1目：浄化槽使用料	15,431千円											
【その他】	1款2項1目：浄化槽手数料	4千円											
【その他】	4款1項1目：諸収入	2千円											

事業説明書

(農業集落排水事業特別会計)

1 款 1 項 1 目 10 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部 下水道課

(施策の大綱) 下水道等の整備

(施策)生活排水処理対策の推進

(基本事業)農業集落排水事業の推進

【事業名】 農業集落排水維持管理費

【説明項目】 農業集落排水維持管理費について

【25年度】 183,071 千円 【24年度】 168,039 千円 【増減額】 15,032 千円

1. 事業の目的

管渠、処理場等について、定期的な保守点検等の維持管理の実施により、施設機能を保全し、安定的で継続的な事業運営を図る。

2. 事業の目標

限られた予算の中でコスト削減に努め、支障なく施設を稼働するための維持管理を行う。

対象区域：大曲、神岡、西仙北・中仙・協和・仙北・太田

3. 事業の概要

(単位：千円)

地域名	全市	大曲	神岡	西仙北	中仙	協和	仙北	太田
地区名 (地区数)	全市 (29)	中田宮林 大曲西部 角間川 (3)	神岡東部 神岡西部 (2)	上野 川里 (2)	中荒井 大神成 田ノ尻 (3)	稲沢 白岩 川口 一ノ渡 小種 水沢 宇津野 下淀川 沢庄 峰吉川 (10)	薬師 福田 弘田 仙北北部 (4)	横沢 大町 小神成 太田今泉 三本扇 (5)
農業集落排水 維持管理費	183,071	46,296	12,080	17,651	10,812	37,980	28,290	29,962

【主な項目】

- 需用費 (電気料、修繕料)
- 役務費 (電話料、汚泥処理手数料)
- 委託料 (施設等維持管理業務委託料)
- 使用料及び賃貸料 (施設関連土地借り上げ料)

4. これまでの成果と今後の方向性

適正な維持管理により、地域の公衆衛生の向上と生活環境の改善が図られている。今後とも、コスト削減及び施設の機能保全に努め、健全な事業運営の継続を図らなければならない。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

大きな事故もなく、支障のない施設稼働が確保された。25年度以降も突発的な大修繕に至らぬ様、適切な日常点検に努めることが求められる。

総合評価

改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
183,071	0	0	158,107	24,964

【その他】 2款1項1目：農業集落排水使用料 157,660千円

【その他】 2款2項1目：農業集落排水手数料 113千円

【その他】 7款1項1目：諸収入 334千円

事業説明書

(農業集落排水事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 10.11 事業

新規 ・ 継続

課所名 上下水道部 下水道課

(施策の大綱) 下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 農業集落排水事業の推進

【事業名】	農業集落排水事業費（補助分・単独分）				
【説明項目】	農業集落排水事業費（補助分・単独分）について				
【25年度】	19,907 千円	【24年度】	22,058 千円	【増減額】	△ 2,151 千円
（うち補助）	16,000 千円		16,500 千円		△ 500 千円
（うち単独分）	3,907 千円		5,558 千円		△ 1,651 千円

1. 事業の目的
市民の公衆衛生及び生活環境の向上と公共水域の水質の保全に資するため、農村地域の下水道整備を進め、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。

2. 事業の目標
耐用年数をむかえる農業集落排水施設が今後増加を迎える一方、修繕費用が大幅に嵩む傾向にあり、市財政を圧迫している。
将来に亘って機能を維持保全するためにはストックマネジメント（既存施設の有効利用や長寿命化）の手法を取り入れた新たな計画手法が必要であるため、当事業で機能診断を実施し、構想策定をするものである。
診断調査が必要な目安として機能強化事業に準じ、29 処理区のうち、供用開始後 7 年以上を経過した 17 処理区を 2 カ年にわけて調査する。

3. 事業の概要 (単位：千円)

区分	事業費		事業概要
	(補助分)	(単独分)	
市全域	19,907		機能診断調査（8 処理区） 上野・中荒井・稲沢・白岩・川口・一ノ渡・横沢・大町
	16,000		
	3,907		

4. これまでの成果と今後の方向性
農村地域の下水道の整備に伴い公衆衛生及び快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全が図られている。今後は、未接続世帯に対し速やかな排水設備への接続が行われるよう啓蒙活動を行い、早期に事業効果を発揮していく。また、老朽化した処理施設の機能診断調査を行い、その結果を基に最適整備構想を策定するとともに、広域共同処理による施設の統廃合や改築更新について年次計画での対応が必要である。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》	総合評価
24 年度に角間川地区の整備が完了し、農業集落排水事業が終了。今後は、整備済施設の長寿命化に向けた最適整備構想策定業務に取り組むこととする。	改善しながら継続

5. 財源内訳 (単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
(事業費) 19,907	16,000	0	0	3,907
（補助分） 16,000	16,000	0	0	0
（単独分） 3,907	0	0	0	3,907

【国県支出金】 3 款 1 項 1 目：農業集落排水事業費県補助金